

防災だより

【第1号】



令和7年7月18日（金）発行
熊本県立苓北支援学校
文責：防災主任 毛利 元気

防災教育の紹介

2016年4月に発生した熊本地震の経験から、熊本県教育委員会では毎年4月に「くまもと防災教育月間」を設定しています。苓北支援学校においては、各学部において防災教育を実施しています。体験的に学ぶことができるよう、実験で地震のメカニズムを学んだり、防災グッズが校内のどこにあるか探索したりしました。



消火器を見て触れて確認！



突っ張った板に衝撃を与えて、地震のメカニズムを体験。



防災頭巾被ってみました。



校内のどこに頭巾を保管しているか目視確認。

雷ナウキャストの活用

2024年に熊本県内の高校生の落雷事故を受けて、再発防止のため雷ナウキャストの活用が求められています。雷ナウキャストとは、雷の激しさや落雷の可能性を1km格子単位で解析し、その1時間後（10分～60分先）までの予測を行うもので、10分毎に更新して落雷の危険度を提供する気象庁のシステムのことです。気象庁 HP から確認することができます。校外学習や校内プールの活動前には、担当者が必ず確認し、児童生徒が安心・安全に学習することができるよう心掛けています。



①天気を選択



②雷マークを選択

③色で危険度を確認することができます。



6月11日 地震避難訓練

今回の避難訓練は震度5の地震が発生する想定で実施しました。当日朝まで雨が降っており、雨天時の避難訓練となりました。地震速報のアラームを受けて自分の身を守り、迅速に避難することを心掛けました。訓練後は消防士より講話をいただき、水消火器の体験学習を行いました。



教師と一緒に安全に訓練に参加しました。



的に向かって放水！



苓北分署の皆さんと記念撮影♪